

# 周防大島町の話題



▲引き上げられた網の中には、銀色に輝くカタクチイワシがぎっしり

## いわし網漁解禁

6月1日、山口県内最大のいりこの産地である浮島で、今シーズンのいわし網漁がはじまりました。

いわし網漁は、カタクチイワシを探す船1隻、網の設置・引き上げを行う船2隻、獲れたカタクチイワシを運ぶ船1隻の計4隻で1つの船団を組み、連携をとりながら行われます。

引き上げられたカタクチイワシは、すぐに浮島にある加工場に運ばれ、新鮮な状態を保ったままゆであげられ、いりこへと加工されていきます。

いわし網漁は、11月下旬まで行われます。

## 平和を願う「戦艦陸奥慰霊祭」

6月8日、戦艦陸奥殉難将兵慰霊祭が油田農村環境改善センターで行われ、全国から遺族や関係者約60人が参列し、犠牲者の冥福を祈りました。

慰霊祭は東和陸奥顕彰会の主催で行われているもので、式では顕彰会会長の藤本町長が「今後とも平和に対する悲願が後世に受け継がれていくことを心から願うものであります」と追悼のことばを述べました。

戦艦「陸奥」は、80年前の昭和18年6月8日、不慮の爆発により、将兵1,121人とともに伊保田沖に沈みました。



▲顕彰会会長としてあいさつする藤本町長



▲9日の離村式（お別れ式）で、民泊家庭の方とポーズを決める台北市立和平高級中学の生徒さん達。

初日の緊張した様子とはうってかわって、「また来てね」「台湾に来たら遊びに来てね」と、涙を流す姿も見られました。

## 民泊体験再開

今年度の体験型教育旅行の受入れが5月から始まり、コロナ禍で中止になっていた民泊体験も3年ぶりに再開されています。

6月8、9日には、台湾の台北市立和平高級中学（高校）の皆さんが、周防大島での民泊体験に参加しました。畑作業や料理、お皿洗いに布団敷きなど、ありのままの日常を家族の一員として共有しながら、日本の文化に触れ、言葉の壁を越えた「心の交流」を楽しみました。

なお、実施にあたっては、感染症に対する安全対策を図ったうえで行われています。